

UNITED SPORTS FOUNDATION

Activities Report 2014 (April-December)

代表メッセージ

「一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION(ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション)」は、東日本大震災以降、さまざまな支援・貢献活動への関心が高まる中、スポーツを通じて社会貢献することを目的に、2011年9月20日に設立いたしました。

全ての人に勇気や感動を与えることができる「スポーツの持つ力」を再認識し、その魅力をより多くの人に伝えるべく、ご賛同いただいたアスリートの方々、地域、企業の皆さまのご協力のもと、スポーツに触れる機会創出を積極的におこない、人々の心身の健康に寄与することを目指します。

「One World. One Team.」を財団メッセージとし、グローバルな視点でこうした活動を継続的、発展的に運営することで、世界全体のスポーツ文化振興に尽力してまいります。

一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION

代表理事 諸橋 寛子



財団概要

理念 USFを支える3つの柱

1. 社会文化振興に対する貢献 —— スポーツを通して明るく楽しく健康的な社会の創造発展に貢献します
2. スポーツ文化振興に対する貢献 —— スポーツの社会公共文化財としての価値を高めスポーツ文化の創造発展に貢献します
3. 将来を担う子どもたちに対する貢献 —— スポーツを通して健全な心と体を持った子どもたちの育成に貢献します

活動内容 3つの理念に基づいた社会貢献活動

- スポーツキャンプ、イベント、クリニックの開催によるスポーツ振興
- スポーツ技術、用品、資金の支援

Message from the Board Chairperson

Amid heightened interest towards providing support following the Great East Japan Earthquake, we established the UNITED SPORTS FOUNDATION on September 20th, 2011 to contribute to Japan's recovery through the medium of sports. We strive to help as many people as possible rediscover the "power of sports," the ability sports have to give people courage and inspiration. Receiving generous support from athlete endorsers, corporate partners and community supporters, we aim to contribute to the development of the public's mental and physical health by progressively creating opportunities to engage in sports.

Under the motto "One World. One Team.," the UNITED SPORTS FOUNDATION continues to make constructive efforts at a global level to further develop the world's sports culture.

UNITED SPORTS FOUNDATION Board Chairperson
Hiroko Morohashi

Mission The three principles of USF

1. Contributing to the promotion of social culture
The USF contributes to the achievement of a fun, bright and healthy society through the encouragement of sports.
2. Contributing to the promotion of sports culture
The USF contributes to enhancing the value of sports by promoting the sociocultural value of sports.
3. Contributing to the children of tomorrow
The USF contributes to creating opportunities for children to enjoy sports while developing their mental and physical health.

Activities Contributions to society based on the USF mission

- ・Promoting the value of sports by holding sports camps, events and clinics.
- ・Providing goods, donations and sports skills.

2014年度のあゆみ (2014年4月-12月)

積極的に活動をおこない、たくさんのお子どもたちにスポーツに触れる機会を提供してまいりました。

4月

- GinzaWorking+BOKS体験会



4月

5月

- 名古屋アイスホッケーキャンプ
- MINI EURO 2014
- Walk in Her Shoes

5月



6月

- 新潟アイスホッケー&スケートクリニック
- 日本バスケットボール選手会チャリティーイベント
- USF Figure Skating Dream for Kids



6月

7月

- メッセージフロム・愛知 中西哲生サッカー教室



7月

8月

- USF Sports Camp in Fukushima
- airweave presents Exciting Baseball Tour
- ロコモサイズ体験会
- プーマ ボルシア・ドルトムント チャリティーサッカー教室
- Nā Kama Kai



8月

9月



- 大津市市民体育大会
- For Dreams Cup 2014
- Smile&Dream Cup
- 四国アイランドリーグplus公式試合 愛祭〜つながる。『球場(リアル)』〜
- 清武選手スパイク贈呈式

9月

10月

11月

10月

- KONICA MINOLTA presents USF スポーツフェスティバル
- Sports Caravan 〜かけっこ教室〜



11月

- 猪苗代湖ハーフマラソン2014
- 渡良瀬オーガビッツ駅伝
- 第4回東北小学生女子野球交流大会
- Sports Caravan 〜かけっこ教室〜
- 仙台アイスリンク クロスアイスゲーム



12月

- USF presents がんばれ東北! チャリティーセミナー
- Sports Caravan 〜かけっこ教室〜
- USFアイスホッケー体験会

12月



通年

- BOKSプログラム
- バスケキッズフェスティバル
- USFバレーボール教室
- 東京ヴェルディ ヴェルレンジャー
- 宮城県ジュニアアスリート育成事業

活動実績

○USF 主催事業

企画から運営まで、全て独自におこなう活動を少しずつ広げています。今後は活動エリアも拡大していく予定です。

USF Sports Camp

トップアスリートやコーチ陣による直接指導のもと、子どもたちが様々なスポーツを体験する3泊4日のスポーツキャンプ。各種競技のクリニックやアクティビティを通して、スポーツの楽しさを再発見するとともに、自分自身の能力や関心を見つけ出す機会を提供します。

また、各国から集まったスタッフによる海外スポーツ環境の講話、初対面の参加者同士による共同生活を通してソーシャルスキルを身に付けることを目指します。

2012年よりUSFのオリジナル企画としてスタートした「USF Sports Camp」。2014年度は開催地の福島県だけでなく、滋賀県からも公募により集まった小学校5・6年生が参加しました。

※震災後、福島県は子どもたちの肥満率ワースト1、滋賀県はベスト1とされています。

Sports Clinics

- サッカー ● バスケットボール ● バレーボール
- テニス ● ゴルフ ● ラグビー

スポーツクリニックは、メジャースポーツだけでなく、普段は触れることのないようなスポーツも取り入れ、毎回異なった競技体験を提供しています。講師のアスリートにはデモンストレーションをお願いし、子どもたちには一流のプレイを間近で体感してもらいます。

講師

- ・平瀬智行 (元サッカー日本代表)
- ・小畑亜章子 (元バスケットボール日本代表)
- ・仙台ベルフィーユ (V.チャレンジリーグ)
- ・山本育史 (元デビスカップ日本代表)
- ・那須美根子 (プロゴルファー)
- ・齋藤祐也 (元ラグビー日本代表)



Activities

●チームビルディングゲーム

初対面の子もたちが、いち早く打ち解け、チームワークを発揮できるように、グループに分かれて様々なゲームにチャレンジします。

●オリジナルユニフォーム作り

チームの絆と連帯感をより強固にするために、皆で決めたチーム名と背番号をTシャツにデザインし、オリジナルユニフォームを作ります。

●海外スポーツ講話

各国から集まったスタッフから海外スポーツ文化や環境などを学び、その違いを考えることでグローバルな視点を身に付けます。

●英語でエール作り

チームが盛り上がっているとき、落ち込んだときに声を掛けあうためのキーワードを出し合ってリズムと動きを付け、独創性あるエールを作ります。

●ポストカード作り

USF Sports Campに送り出してくれた家族や新しく出会った仲間に宛てたポストカードを作ります。キャンプを終えた頃に自宅に届くメッセージです。

●キャンプファイヤー

英語の歌に挑戦したり、自作のスイーツを楽しみます。(雨天のため、キャンプファイヤーを囲むことはできませんでしたが楽しい時間となりました。)

●スカベンジャーハント

アメリカで人気のゲームで、キーワードに当てはまるものを探して見つけ出します。身近な英単語を覚えられるようにキーワードは英語で与えています。

●スポーツ大会

集大成として最終日にはスポーツ大会を実施。仲間と心をひとつに、オリジナルユニフォームとエールで試合も応援も力いっぱい頑張ります。

【後援】福島県、福島県教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会、草津市、草津市教育委員会

【協力】公益財団法人東日本復興支援財団

※USF Sports Camp in 福島 Summer 2014 は、福島子どもカプロジェクトへの参加事業です。



Nā Kama Kai

国際スタンドアップパドルレース・プレ大会「WATERMAN LEAGUE湘南茅ヶ崎プロ」の開催にあわせ、2日間に渡り「Nā Kama Kai (ナカマカイ)」プログラムを実施しました。「Nā Kama Kai」とは、ハワイ語で「海の子どもたち」を意味し、海の安全と環境保全の意識向上を伝えるプログラム。

参加した子どもたちは、サーフィン、スタンドアップパドル、アウトリガーカヌーなどのマリンスポーツ体験のほか、水難事故から身を守るために効果的な訓練とされる“着衣泳”を学びました。最後に皆でビーチクリーンを実施、海に感謝を送りました。



USF Figure Skating Dream for Kids

USFの賛同者でもあり、今期プロスケーターに転身を遂げたばかりの鈴木明子さんによる、ご本人も初めてとなるジュニアスケート教室を企画しました。

公募で集まった子どもたち約60名に、スケATINGの技術や音楽に合わせた感情表現など、実際にお手本を見せながら手ほどき。姿勢の保ち方や足の確度といった基本を丁寧に説明するだけでなく、表情の作り方や動作による表現の違いなどを具体的に教わった子どもたちは、熱心に練習に励みました。



USFアイスホッケー体験会

アイスホッケー日本代表キャプテンの田中豪選手（東北フリーブレイズ）を講師に迎え、初心者と経験者にわかれてアイスホッケー体験会を実施しました。“SENDAI 光のページェント”の一環として勾当台公園に特設された屋外スケートリンク「Sendai Winter Park スターライトリンク」を活用し、参加者は、レベルに合わせた技術指導を受けたうえでミニゲームを楽しみました。また現役選手のテクニク披露に歓声が上がリ、アイスホッケーの迫力を体感することができました。



○企業タイアップ事業

スポーツ業界にジャンルを問わず、活動に共感いただける企業とタイアップした企画を実現しています。

Exciting Baseball Tour

一流のプレイに触れることで、夢や憧れを持ち、努力するモチベーションに繋がるよう、プロ野球の試合観戦と元プロ選手による野球教室が体験できるエキサイティングツアーを企画しました。

いまだに震災の爪痕が残る東北の野球チームを招待し、初日は東京ドームでの巨人戦を観戦。試合前の練習見学や始球式への参加、アフターゲームツアーなど、なかなか経験できない特別な1日がプレゼントされました。ホテルでのウェルカムパーティーには、試合でも活躍した小林誠司選手とジャビット君のサプライズ登場があり、まさに興奮冷めやらぬ時間となりました。

翌日は、元プロ野球選手による野球教室が開催され、子どもたちは豪華講師陣たちと積極的に交流し、全員が練習に汗を流しました。

講師

- ・矢野和哉 (元ヤクルトスワローズ/投手)
- ・原俊介 (元讀賣ジャイアンツ/野手)
- ・辻武史 (元ソフトバンクホークス/外野手)
- ・加藤幹典 (元ヤクルトスワローズ/投手)

【協力】株式会社エアウィーヴ

USF スポーツフェスティバル

仙台市の多目的アリーナ「ゼビオアリーナ」の2周年記念イベントにあわせ、1日を通して多くのスポーツに触れられるよう企画したUSFスポーツフェスティバルには、県下の小学生約80名が参加しました。

サッカー、ゴルフ、テニスのクリニックを通して協議の多様性やプレイする楽しさ、上達する喜びを実感したほか、「FIBA 3×3 WORLD TOUR FINAL 2014」を特別シートで観戦し、世界一をかけた白熱の試合に会場が一つになる感動を全員で味わいました。

さらに、コニカミノルタ社の協力による立体コピーサービス“モコモコ手形を作ろう!”のコーナーでは、自分の手形が立体的に印刷される不思議な技術を体験。クリニック講師からも手形とサインがプレゼントされました。

初対面の子もたちがすぐに打ち解け、スポーツ三昧の充実した時間を過ごすことができました。

講師

- ・平瀬智行 (元サッカー日本代表)
- ・那須美根子 (プロゴルファー)
- ・田子加奈子 (プロゴルファー)
- ・山本育史 (元デビスカップ日本代表)

【協力】コニカミノルタ株式会社



○スポーツクリニック

全国で継続的にスポーツクリニックを実施できるようアスリートやチームと連携を図っています。

USF Sports Caravan ～かけっこ教室～

運動が苦手な子でも、ちょっとしたコツを覚えて実行することで、かけっこが速く走れる！簡単に実践できる小学生向けのかけっこプログラムを作成し、小学校をキャラバンする活動をスタートさせました。学校のニーズや学年に合わせて、かけっこ指導をおこなっています。競争ではなく、ひとりひとりが目標を持って頑張れるよう達成感を重視する内容にしています。

バスケキッズフェスティバル

日本バスケットボール協会（JBA）とエグゼクティブパートナーのゼビオグループとの協働事業として実施される、「NICHIBAN presents JBAバスケキッズフェスティバル」の開催に協力しています。バスケットボールの楽しさを一人でも多くの子ども達に伝えるため、元日本代表選手の指導のもと、JBAオリジナルカリキュラムでのバスケットボール教室がおこなわれるほか、子どもたちをサポートする保護者や地域の指導者・審判を対象とした講習会も開かれます。

【協力】公益財団法人日本バスケットボール協会、ゼビオグループ

USFバレーボール教室

V.チャレンジリーグで活躍するバレーボールチーム“仙台ベルフィーユ”と連携し、「USFバレーボール教室」を定期的実施しています。

リーグ中のホームゲーム開催時、バレーボール経験者を対象に、試合観戦に招待するほか、より高度な技術が身に付くよう、現役選手たちから直々にテクニックを教われる貴重な機会を提供します。チームとしても、この教室を通じて地域に根差した活動の実現を図っています。



東京ヴェルディ ヴェルレンジャー

サッカーJ2リーグチーム“東京ヴェルディ”の地域活動パートナーとなり「東京ヴェルディヴェルレンジャー」の活動に協力しています。チームコーチなどの指導者が小学校を訪問し、サッカーの技術指導ではなく、身体を動かすことを楽しむことで子どもたちの健全育成を目指すもので、ボールを使った遊びを中心に、コミュニケーション能力や思いやりの気持ちを引き出す指導をしています。



アイスホッケーキャンプ

日本代表選手をはじめとする現役のプレイヤーたちが、競技振興のために自主的に企画しているアイスホッケーキャンプの趣旨に賛同し、協力を続けています。ジュニアチームを中心に集まった参加者がプロ選手と一緒にオフアイス、オンアイスのメニューをこなし、練習に励みます。さらにプロならではの体験談を語ってくれる講演なども実施し、子どもたちの質問タイムも人気です。



メッセージフロム・愛知 中西哲生サッカー教室

スポーツジャーナリストの中西哲生さんとのコラボ企画は、USF設立時から続いており今年で4回目を迎えました。この活動は、中西氏を発起人に愛知県で実施される「メッセージフロム愛知 チャリティーゴルフコンペ」の収益金が活用され、ご本人自らが現地に足を運んでサッカー指導をおこないます。今回は開催地である福島県相馬市の姉妹都市である千葉県流山市のスポーツ少年団も参加し、地域交流も図ることができました。



USFの活動はホームページで随時発信しています。

www.unitedsportsfoundation.org

カレンダー機能で活動情報を検索できます

Facebookやスタッフブログもぜひご覧ください

アスリートや企業の皆さまのインタビューや対談記事を連載しています



○運動プログラム普及活動

子どもたちの運動を習慣付けるため、BOKSプログラムの普及促進活動をおこなっています。

BOKSプログラム

“BOKS (ボックス) プログラム”は、幼稚園や学校の授業がはじまる前におこなうアメリカ生まれの知育運動プログラム。年齢や運動能力にかかわらず、楽しく運動できるというのが特徴です。

アメリカでは「ゼロ時間目のプログラム」として展開され、一定の効果をあげており、ハーバード大学のジョン・J・レイティ博士が推奨しています。

USFでは、各学校や団体が自主的継続的に“BOKSプログラム”を運用していけるようインストラクターの派遣や体験会、研修会などのサポートを続けています。

幼稚園・保育園・小学校などでの体験会の実施

子どもたち向けに体験会を実施し導入を検討いただくとともに、先生方への研修などをおこなっています。

各種イベントでのPR活動

イベント時のコンテンツとしてPR活動をさせていただき、保護者の方への理解促進を図っています。

【協力】リーボックジャパン



〈 BOKSプログラムの効果 〉

運動不足解消と運動能力向上

適度に身体を動かすことによって運動不足が解消され、普段使わない筋肉を使うことにより強い筋肉や柔軟性といった体力、運動能力の向上が図れます。

脳の働きの活性化と最適化

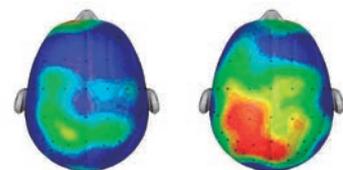
運動することによって脳の働きが活発になり、学力が身につく状態に変わることが期待されています。

ストレス解消とメンタルコントロール

アメリカの調査で、身体を動かすことがストレス解消につながり、運動後には子どもたちに集中力や落ち着きが出たとの効果が報告されています。

コミュニケーション能力と協調性

互いに声を変え合ったり、チームで協力したり、触れ合ったりするプログラムで、楽しみながらコミュニケーションの向上が図れます。



静かに座っている時の脳

20分ウォーキングした後の脳

※イリノイ大学チャールズヒルマン博士による調査結果より

運動後の脳は活発に機能する



ジョン・J・レイティ博士

医学博士、ハーバード大学
医学部臨床精神医学准教授

カナダアルバータ州、アメリカユタ州のウェルネス・アドバイザーを務めるなど、スポーツ関連の活動も精力的に取り組んでいる。

○助成・協力活動

スポーツ振興やスポーツを通じた人材育成、地域活性化などを目的とする活動に、助成をおこなっています。

2014年4月-12月の助成・協力

2013年度実績

- Ginza Working + BOKS体験会 (2014.4.12)
- MINI EURO2014 (2014.5.17-18)
- Walk in Her Shoes 東京&大阪 (2014.5.25)
- 新潟アイスホッケー&スケート教室 (2014.6.7)
- 日本バスケットボール選手会チャリティーイベント (2014.6.14)
- プーマ ボルシア・ドルトムント チャリティーサッカー教室 (2014.8.13)
- ロコモサイズ体験会 (2014.8.13)
- 大津市民体育大会 (2014.9.7)
- For Dreams Cup 2014 (2014.9.13-14)
- Smile & Dream Cup (2014.8.23)
- 猪苗代湖ハーフマラソン2014 (2014.11.2)
- 渡良瀬オーガビッツ駅伝 (2014.11.8)
- 東北小学生女子野球交流大会 (2014.11.15)
- アイスリンク仙台 クロスアイスゲーム (2014.11.29)

活動総括 (2014年4月-12月)

東日本大震災がきっかけとなりUSFを設立、当時は東北エリアを中心にスポーツを通じた被災地復興を主体とした活動をおこなってきました。

スポーツが持つ力で、塞いだ日々に小さな光が差すことができるよう、被災した子どもたちや地域の方々に勇気、希望、感動を与えるべく各種スポーツイベント、運動プログラム等の実施を年間約500回ほどおこないました。

今年度は震災から3年以上が経ち、求められる支援のかたちが変わってくる中、スポーツを通じた社会貢献活動をより広い視野でとらえ、スポーツの裾野拡大につながる活動に力を入れてまいりました。それらの活動は、規模は小さくとも子どもたちひとりひとりとより深くかわり今後の人生に影響を与えることのできるよう、内容を工夫したものとなりました。

今後は、自主事業を中心に、現状のスポーツプログラムの精度アップを図りUSFにしかできない活動を全国的に展開してまいります。

USFの活動にご支援、ご協力いただきました企業、団体、地域、アスリートの皆さまに、心より感謝申し上げます。



プロジェクト型インターンシップの実施

立命館大学との学术交流・協定を継続し、大学コンソーシアム等と連携して、10周年を迎える四国アイランドリーグplusの公式試合を学生たちが全て運営するという画期的なプロジェクト型を実施しました。20名の学生が参加し、約3か月間をかけて営業、企画、広報などの業務を学びました。

【協力】立命館大学スポーツ健康科学部、公益財団法人大学コンソーシアム京都、一般財団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム、四国アイランドリーグplus



サッカー日本代表 清武弘嗣選手 スパイク贈呈式

2013年6月当時、震災から2年以上経っても体育館や校庭の使用ができなかった郡山市立金透小学校の修学旅行をUSFが企画しました。その際に清武弘嗣選手が出場する試合を観戦したことがきっかけで、生徒たちと清武選手のあたたかい交流が続いています。この度、国際試合で使用したスパイクをプレゼントにお預かりし、学校にお届けしました。

【協力】アディダスジャパン株式会社



多くの皆さまからご支援をいただきました(抜粋)

●UNITED SPORTS FOUNDATION presents 第9回頑張れ東北!川上昌直チャリティーセミナー

Special Thanks

兵庫県立大学経営学部教授 川上 昌直先生

参加費の一部をご寄付いただきました。



●山海楼 Presents 日中友好・震災復興チャリティーマッチシリーズ

Special Thanks

株式会社 新世紀商事 (山海楼)

チャリティー企画の収益金をご寄付いただきました。



賛同企業やアスリートの皆さまのご支援のほかにも、多くのチャリティイベントや個人・団体の皆さまからご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。



財団基本データ Organization Data

基本情報 Profile

正式名称 一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
 通称 USF(ユーエスエフ)
 代表者 代表理事 諸橋寛子
 所在地 東京都千代田区神田錦町3-20
 設立日 2011年9月20日
 メッセージ One World. One Team.

Name General Incorporated Foundation
 UNITED SPORTS FOUNDATION
Abbreviation USF
Representative Board Chairperson Hiroko Morohashi
Location 3-20,Kandanishikicho,Chiyodaku,Tokyo
Date of Establishment September 20,2011
Message One World. One Team.

問い合わせ

TEL : 03-6854-0001 FAX : 03-5282-7653
 MAIL : info@unitedsportsfoundation.org
 U R L : www.unitedsportsfoundation.org

Contact

TEL : 03-6854-0001 FAX : 03-5282-7653
 MAIL : info@unitedsportsfoundation.org
 U R L : www.unitedsportsfoundation.org

役員 Board Members

代表理事 Board Chairperson	諸橋 寛子 Hiroko Morohashi	スペシャルオリンピックス日本・福島 副会長 Vice Chairperson, Special Olympics Nippon, Fukushima
理事 Director	ロブ・ラングスタッフ Rob Langstaff	RYZ CEO Founder/CEO, RYZ
理事 Director	田尻 邦夫 Kunio Tajiri	NPO法人新社会人養成塾BOOSTER代表 President, NPO BOOSTER
理事 Director	村田 真一 Shinichi Murata	関東学院大学非常勤講師/米国NLP協会公認NLPトレーナー Adjunct Instructor, Kanto Gakuin University/NLP Trainer, authorized by the Society of NLP
評議員 Councillor	中野 泰三郎 Taizaburo Nakano	東京コカ・コーラボトリング株式会社常勤相談役/沖縄コカ・コーラボトリング株式会社取締役 Managing corporate adviser, Tokyo Coca-Cola Bottling Co., Ltd./director, Okinawa Coca-Cola Bottling Co., Ltd
評議員 Councillor	ジンジャー・グリッグス Ginger Griggs	ビジネスコンサルタント Business Consultant
評議員 Councillor	種子田 穰 Joe Taneda	立命館大学スポーツ健康科学部教授 Professor of Sports Business and Management Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University
評議員 Councillor	石綿 学 Gaku Ishiwata	森・濱田松本法律事務所/弁護士 Attorney at law, Mori Hamada & Matsumoto
監事 Inspector	小谷野 幹雄 Mikio Koyano	小谷野公認会計士事務所所長/公認会計士・税理士 Certified Public Accountant/Representative, Koyano Certified Public Accounting Office

ご支援・ご協力をお願い

USFは、皆さまのご寄付や企業のサポートによって支えられている 非営利組織です。スポーツを通して地域の活性化、健全な心身育成、文化の醸成、発展に寄与すべく、さまざまな活動をしてまいります。パートナーとなっていただける皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

寄付によるご支援

HP(<http://www.unitedsportsfoundation.org/>)より、寄付申込用紙をダウンロードいただき、必要事項を記入のうえ、指定の銀行口座へお振込みをお願いいたします。

募金箱の設置

お店やイベント会場、会社などにUSFの募金箱を設置してくださる方を募集しています。

物品のご提供

スポーツを頑張る子どもたちへのプレゼントや、各種イベントでのスポーツ用品の提供なども募集しています。

ボランティアへの参加

USFのスポーツイベントを一緒に盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集しています。

賛同企業・アスリートご紹介

賛同企業・団体

Supporters





荒川 静香
(フィギュアスケート)
Shizuka Arakawa (Figure Skating)



有森 裕子
(マラソン)
Yuko Arimori (Marathon)



伊藤 竜馬
(テニス)
Tatsuma Ito (Tennis)



岩崎 恭子
(水泳)
Kyoko Iwasaki (Swimming)



エディ・ジョーンズ
(ラグビー)
Eddie Jones (Rugby)



大神 雄子
(バスケットボール)
Yuko Oga (Basketball)



大儀見 優季
(サッカー)
Yuki Ogimi (Soccer)



大山 加奈
(バレーボール)
Kana Oyama (Volleyball)



小椋 久美子
(バドミントン)
Kumiko Ogura (Badminton)



加藤 陽一
(バレーボール)
Yoichi Kato (Volleyball)



鈴木 明子
(フィギュアスケート)
Akiko Suzuki (Figure Skating)



高橋 大輔
(フィギュアスケート)
Daisuke Takahashi (Figure Skating)



立花 美哉
(シンクロナイズドスイミング)
Miya Tachibana (Synchronized Swimming)



田臥 勇太
(バスケットボール)
Yuta Tabuse (Basketball)



トム・バイヤー
(サッカー)
Tom Byer (Soccer)



中西 哲生
(サッカー)
Tetsuo Nakanishi (Soccer)



平瀬 智行
(サッカー)
Tomoyuki Hirase (Soccer)



吉原 知子
(バレーボール)
Tomoko Yoshihara (Volleyball)



www.unitedsportsfoundation.org